

## 平成 21 年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	ぶどう品種「シャインマスカット」の花穂整形、ジベレリン処理、摘粒の方法			
[要約] ぶどう品種「シャインマスカット」において、①花穂整形は開花初期に副穂及び上部支梗を除去し、花穂の長さを概ね 4 cm とする。なお、花穂の先端は切りつめない。②無核化はジベレリン水溶剤 25ppm を満開時～満開 3 日後と満開 10～15 日の 2 回浸漬処理とする。なお、1 回目にストレプトマイシン剤 200ppm を加用することで、無核化率が向上する。③摘粒は結実確認後に実施し、概ね 40～50 粒程度とする。						
キーワード	ぶどう	シャインマスカット	花穂整形	無核化	摘粒	技術部 園芸研究室

### 1 背景とねらい

ぶどう品種「シャインマスカット」は強いマスカット香を有する 9 月下旬に収穫できる黄緑大粒種として平成 18 年度岩手県農業研究センター研究成果とした。ぶどうの高品質安定生産のためには開花期の花穂整形、ジベレリン処理、結実後の摘粒が重要な管理作業となるが、品種によって方法が異なる。

そこで、「シャインマスカット」の花穂の整形、ジベレリン処理及び摘粒の方法を明らかにする。

### 2 成果の内容

- (1) 花穂の整形は、開花初期（副穂の開花が始まった頃）に副穂及び上部支梗を除去し、花穂の長さを概ね 4 cm とする。なお、花穂の先端は切りつめない（表 1、図 1）。
- (2) 無核化処理としてジベレリン水溶剤 25ppm を満開時～満開 3 日後（1 回目）と満開 10～15 日（2 回目）の 2 回浸漬処理する。また、1 回目にストレプトマイシン剤 200ppm を加用することで、無核化率が向上する（表 2、3）。
- (3) 摘粒は結実確認後に実施し、概ね 40～50 粒程度とする（表 1、2）。

### 3 成果活用上の留意事項

- (1) 「シャインマスカット」の品種特性については、平成 18 年度研究成果「ぶどう「シャインマスカット」の特性評価」を参照する。
- (2) 花穂整形の方法は平成 14 年度研究成果情報を参考とし、房重の目標を 400g 以上とした。
- (3) 樹勢が強いと年次により花穂先端が分岐する場合がある。樹勢が強くなりすぎないように剪定や肥培管理、芽かき、摘心等で適正な樹勢を維持する。分岐により花穂先端が使えない場合は第 1 支梗が利用できる。
- (4) 試験樹は平棚長梢剪定樹を利用している。

### 4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等  
県内ぶどう生産地帯、ぶどう生産者
- (2) 期待する活用効果  
ア 「シャインマスカット」の高品質、安定生産が図られる。  
イ ぶどう産地の活性化につながる。

### 5 当該事項に係る試験研究課題

- (829) キャンベル・紅伊豆にかわる大衆嗜好品種の育成及び選抜  
(2000) 国内外育成の寒冷地向き品種の選抜

### 6 研究担当者

小野浩司

### 7 参考資料・文献

- (1) 平成 18 年度岩手県農業研究センター試験研究成果「ぶどう「シャインマスカット」

の特性評価」

- (2)平成14年度研究成果情報「肉質が優れ、大粒で食味良好なブドウの新品種「シャインマスカット」(系統名:ブドウ安芸津23号)」
- (3)平成19年度研究成果情報「ブドウ「シャインマスカット」の無核栽培における花穂整形法」(技術・普及)
- (4)平成11年～平成19年 果樹試験成績書
- (5)平成11年～平成15年 果樹系統適応性・特性検定試験成績検討会資料

## 8 試験成績の概要(具体的なデータ)

表1 シャインマスカットの花穂長別果実品質(2006)

試験区名	房重 (g)	粒重 (g)	着粒数 (粒)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)
花穂3cm区	275	8.1	29	18.8	0.27
花穂3.5cm区	388	8.8	39	18.8	0.20
花穂4cm区	438	9.1	43	17.9	0.25

各区とも開花はじめに花穂を調整

ジベレリン処理日

1回目(ジベレリン25ppm+ストレプトマイシン200ppm)6/29

2回目(ジベレリン25ppm)7/12

結実確認後、適宜摘粒を実施

収穫日:9/25

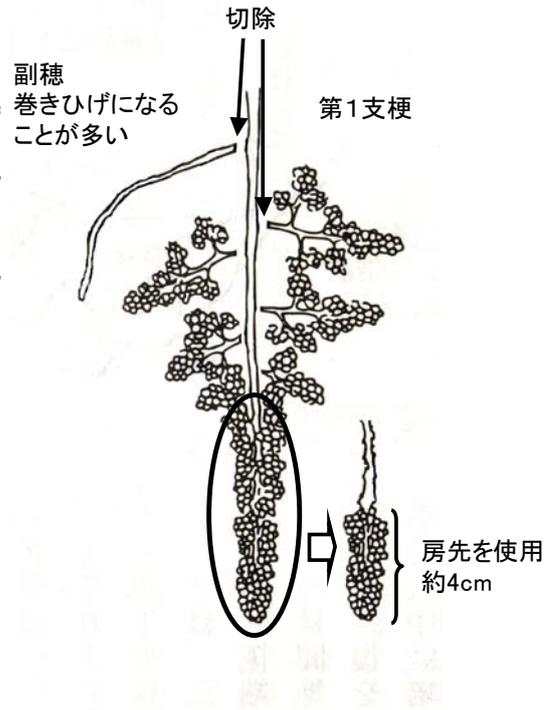


図1 花穂の整形

表2 シャインマスカットの植調剤使用別果実品質(2006)

試験区名	房重 (g)	粒重 (g)	着粒数 (粒)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)	含核数 (個/粒)
1	445	8.1	48	19.0	0.23	0.1
2	465	8.8	49	19.0	0.20	0.0
3	269	9.7	24	18.5	0.33	1.2

各区とも開花はじめに花穂を4cmに調整

ジベレリン処理期は表3参照

結実確認後、適宜摘粒を実施

収穫日:9/25

表3 植調剤試験の試験区構成(処理時期、植調剤種類及び濃度)

試験区名	6/29(満開時～満開3日後)	7/12(満開10～15日後)
1	ジベレリン25ppm	ジベレリン25ppm
2	ジベレリン25ppm+ストレプトマイシン200ppm	ジベレリン25ppm
3	無処理	